

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年9月30日
【会社名】	AI inside 株式会社
【英訳名】	AI inside Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長CEO 渡久地 択
【本店の所在の場所】	東京都港区麻布台1丁目3－1
【電話番号】	03-5468-5041（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 烏野 裕明
【最寄りの連絡場所】	東京都港区麻布台1丁目3－1
【電話番号】	03-5468-5041（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 烏野 裕明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、2026年9月30日開催の取締役会において、株式会社Wanderlustの株式を取得し、同社を子会社化することについて決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1)取得対象子会社の概要

①商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社Wanderlust
本店の所在地	東京都千代田区神田神保町3-6-1
代表者の氏名	代表取締役 西川 響
資本金の額	1百万円（2026年3月31日現在）
純資産の額	73百万円（2026年3月31日現在）
総資産の額	145百万円（2026年3月31日現在）
事業の内容	AI開発コンサルティング事業

②最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	2百万円	76百万円	241百万円
営業利益又は営業損失（△）	△9百万円	3百万円	31百万円
経常利益又は経常損失（△）	△9百万円	3百万円	36百万円
当期純利益又は当期純損失（△）	△9百万円	3百万円	26百万円

③提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、AI実行基盤となる業務アプリケーション「DX Suite」、AIエージェント生成プラットフォーム「Leapnet」、高セキュリティ環境向けにオンプレミスでAIを稼働させるAIインフラ「AI inside Cube」を主に展開しており、これらアプリケーション・プラットフォーム・インフラの3層を垂直統合し一体で提供している点に特徴を有しております。近年、企業におけるAI活用は、定型業務の処理にとどまらず、複雑な業務や複数の部門・システムをまたぐ活用へと広がりつつあり、これに伴い案件が大型化し、顧客の経営戦略や業務・システムを横断した設計・実装・定着に関する支援力の一層の強化が求められております。当社は、こうしたニーズに対応するため、本年度よりFDE Divisionを立ち上げ、顧客のAI戦略を起点とした業務全体へのAI導入支援に取り組んでおり、その体制の一層の強化に向けた施策の一つとして、対象会社の株式取得を検討してまいりました。

対象会社は、東京大学・松尾研究所発のAI開発コンサルティング会社として、AI戦略の構想策定から実装・精度検証までを一気通貫でコンサルティングする事業を展開しており、深い技術理解に基づき顧客のAI戦略上流から提案を行える点に強みを有しております。当社は、対象会社を連結子会社化することで、対象会社が有するAI戦略上流からの提案力と、当社が提供するプロダクト及び当社の実装支援体制を組み合わせ、大型化するAI活用案件に迅速かつ確実に対応できる体制を構築するとともに、導入後も部門・業務を横断してAIの活用領域を広げ、契約規模の拡大につなげられるものと判断し、対象会社の株式を取得し子会社化することといたしました。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式会社Wanderlustの普通株式	700百万円
アドバイザー費用等（概算額）	50百万円
合算（概算額）	750百万円